国際政治学 II

科目ナンバリング　INR-302
選択　　2単位

中村　楼蘭

1. 授業の概要（ねらい）

政治学や国際政治学の専門用語を用いて、現代国際政治の実態を解説します。
解説する項目は以下の通りです。
1.国際連合　2.帝国主義　3.冷戦　4.中東戦争　5.多極化
目的は現代国際政治の実態の把握です。

2. 授業の到達目標

単位取得時に①今日より広く深い理解が求められている国際政治の動向を説明できる、②国際政治の動向を捉えたうえで、政治外交・安全保障に関する意見を述べることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業内試験を4回実施したうえで、定期試験期間内に期末試験を実施します。全ての試験の得点を加算し、平均して成績をつけます。各試験の成績評価における比重は同一（20%ずつ）です。
情報は記憶しなければ知識にならないので、全ての試験で資料等の持ち込みは不可とします。
出席を怠ると授業内試験を受けられず、期末試験前に不合格が確定してしまう恐れがあります。

4. 教科書・参考文献

教科書
セメスターの初期に専用プリントを配付します。A3判25枚程度を配付する予定です。
参考文献
猪口孝他編　『国際政治事典』　弘文堂

5. 準備学修の内容

適宜、1000字程度のレポートを提出してもらいます。そのテーマは「国連安全保障理事会の改革」「米ソの核軍縮交渉に対する評価」「日本は第三極になったか」「21世紀の新植民地主義」等です。
提出期限は原則次回授業の終了時刻とします。優れたレポートを提出した者には成績評価の際に加点します。未提出者、不十分なレポートを提出した者、期限までに提出できなかった者には減点の措置をとります。

6. その他履修上の注意事項

①政治学や国際関係論等の国際政治学に関連する科目を一つ以上履修しておいてほしいです。
②コンスタントに出席して、プリントを全て受け取り授業内試験を全て受けて下さい。同じプリントの配付は2回で終わりです。授業内試験未受験者に対する追試験については授業内に口頭で通知します。出席は、学生証のカードリーダーへのタッチで判定します。なりすまし防止のため、学生証を忘れた場合は原則欠席とします。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス：授業方針をよく聞いて履修登録するか否かを判断する。
第1講「国際連合」①：国連設立の経緯を学ぶ。
【第2回】　第1講②：国連の目的、行動原則、組織沿革を学ぶ。
【第3回】　第1講③：国連の主要組織とそれぞれの任務を学ぶ。
【第4回】　第1講④：安全保障理事会改革の現状を学ぶ。
【第5回】　第1回授業内試験
第2講「帝国主義」①：帝国主義の定義、発生原因を学ぶ。
【第6回】　第2講②：帝国主義の影響を学ぶ。
【第7回】　第2講③：第二次世界大戦後の帝国主義状況について学ぶ。
【第8回】　第2回授業内試験
第3講「東西冷戦」①：冷戦の定義、特徴を学ぶ。
【第9回】　第3講②：冷戦の起源（1944年）、表面化（1946～47年）、デタントの始まり（1972年）までの変遷を学ぶ。
【第10回】　第3講③：デタント（1972～79年）の実態を学ぶ。
【第11回】　第3講④：アフガニスタン紛争勃発（1979年）から冷戦終結宣言（1989年）までの冷戦の変遷を学ぶ。
【第12回】　第3回授業内試験
第4講「中東戦争」①：中東戦争に至る経緯、パレスチナ問題の淵源を学ぶ。
【第13回】　第4講②：中東戦争の展開過程とその影響を学ぶ。
【第14回】　第4回授業内試験
第5講「多極化」①：多極化の定義、1970年代に現出した第三極を学ぶ。
【第15回】　第5講②：ソ連消滅後の国際情勢を学ぶ。